



# 令和7年度 行政経営方針

～「人と環境が持続し発展するまち」の実現に向けて～





## 事業の概要

**掛川市行政経営方針は、掛川市総合計画を  
着実に推進するとともに、目まぐるしく変化する  
社会情勢に適切に対応し、持続し発展する行政  
運営を確立するために、次年度の取組方針を示  
したものです。**

# 掛川市を取り巻く昨今の社会情勢



## 社会状況

- ・33年ぶりの高水準の賃上げ
- 消費者物価指数 2.8%上昇(R6.6前年同月比)
- 有効求人倍率:掛川市0.8倍 (R6.6)

## 市民生活 若者の定住志向上昇(高校生意識調査)

将来的に掛川市に住みたい 18.0%(前年比+3.0%)  
掛川市で就職したい 10.1%(前年比+2.0%)

## 人口動態 少子・多死社会の進行

令和5年度自然動態	−660人
社会動態	+ 99人
	−561人

## 災害の大規模化

- ・令和6年7月大雨による土砂崩れ
- ・令和6年8月の南海トラフ地震注意

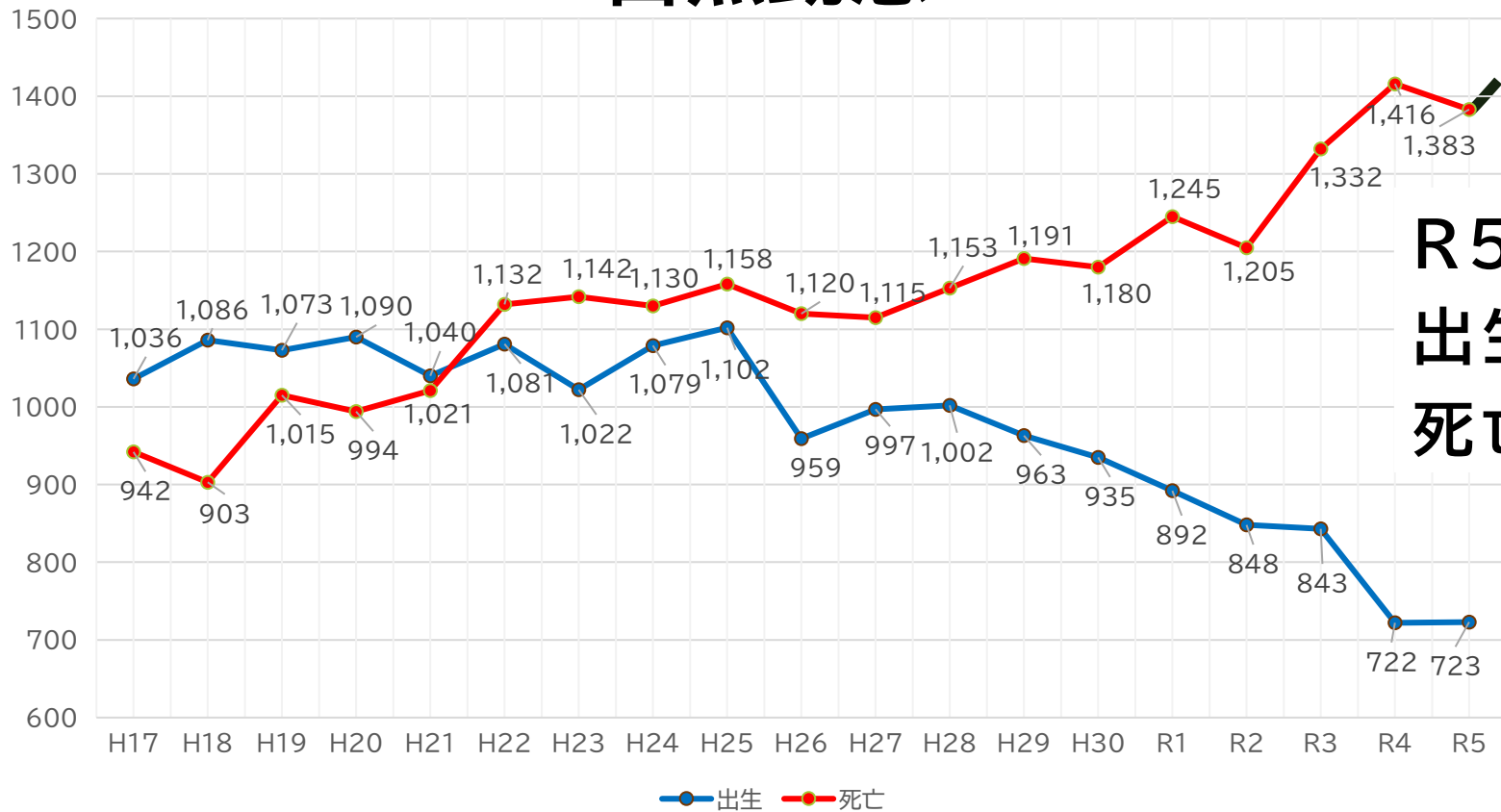
## 財政への影響

- ・学校再編計画による学校施設整備
- ・新廃棄物処理施設整備 など

# 本格的な「少子・多死」社会へ



## 自然動態



R5

出生数 過去**最少**

死亡数 2年連続**1,400人前後**

市では、年間死亡数が  
**1,700人**程度まで増加し、  
当面の間は**1,500人以上**で  
推移すると予想されます。



少子・高齢・多死社会であっても、

『人と環境が持続し発展するまち』の

実現に向けて、未来に向かって進化し続けるための

成長アクセルを踏み込む年度とする。

基本的な考え方の実現に向けた主要なキーワード

誰もが自分らしく安全安心に暮らせる社会の実現、選択的定住・関係・交流人口の増加  
人に優しいデジタルと共創、インクルーシブ、グローバルな視点、ブランド化、  
市民のシビックプライド(愛着・誇り)の醸成

# 令和7年度行政経営の6つの柱



- ①魅力・活力・賑わいを高め、掛川愛による定住・関係・交流人口を増加
- ②お互いに学び高め合う機会の充実と、このまちをより良くする担い手の育成
- ③ゆとりを感じながら安心して 子育てできる環境の充実
- ④こどもから高齢者まで安心して暮らせる都市基盤の整備
- ⑤環境の持続可能性に向けた資源エネルギーの循環利用促進
- ⑥DXによる付加価値の高い市民サービスの実現



## 成長実現のため 今後の短・中期的な主要施策を盛り込んだ予算

### 行政経営の基本的な考え方

少子・高齢・多死社会に対応する

「人と環境が持続し発展するまち」の実現に向けて、未来に向け進化し続けるために

6つの柱を取り巻く主要事業に予算を重点的に配分する。